

令和5年度地域スポーツクラブ活動体制整備事業 運動部活動の地域移行に向けた実証事業 成果報告書（概要）

小美玉市

●地域における現状・課題

- ・現在市内には、中学校が2校、義務教育学校が2校あるが、少子化の影響を受け、部員数が減少傾向にあり、単独の学校のみでは大会に参加できる部員数を確保できていない部活動や、廃部が加速している。また、指導する教員についても、専門外の指導となる部活動について負担とを感じる教員が少なくない状況であり、部活動に要する時間の影響により、長時間勤務となってしまうことが多い状況である。
- ・指導者を確保するためには、人材バンクの活用、地域スポーツ団体等との連携、兼職兼業の制度設計など、地域で活動できる体制づくりの構築が必要となってくる。
- ・地域クラブ活動を運営する上で必要となる講師謝金を始め、保険代や事務局費などの経費に対する受益者負担の保護者の理解が大きな課題となる。

●取組事項の概要

運営主体：NPO法人 小美玉スポーツクラブ

指導者：スポーツ少年団・スポーツ協会加盟団体、部活動指導員

活動場所：美野里中学校、小川北義務教育学校、旧小川小学校体育館、玉里海洋センター体育館

保険料：生徒1人800円/年 指導者1人1,850円または1,200円/年（スポーツ安全保険）

活動種目：男子卓球、女子ソフトテニス、剣道、陸上競技

活動回数：月平均4回

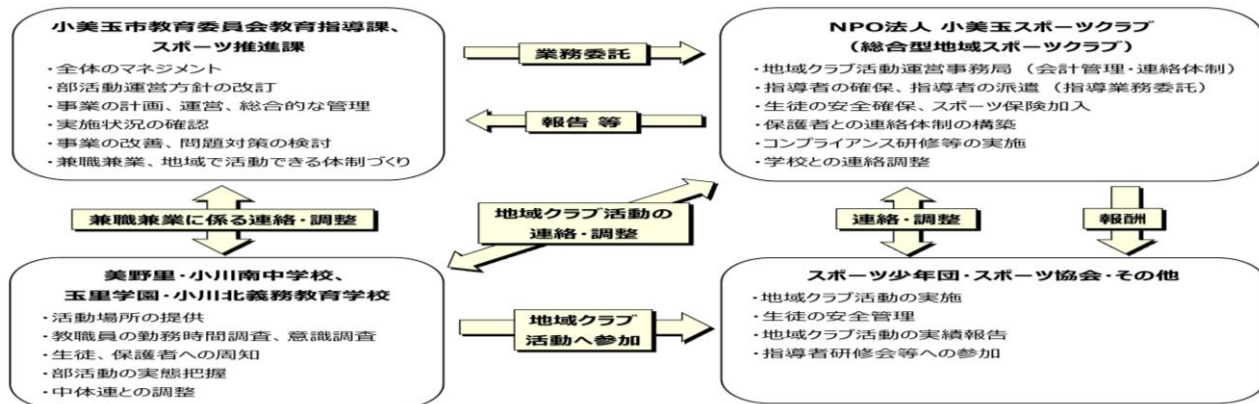
移動手段：徒歩、自転車、保護者送迎

会費等：0円

●取組の成果、特に工夫した点等

- ・すでに外部指導者や部活動指導員が指導を担当している部活動を選定し、各校1部活動を対象に休日の運動部活動を地域クラブ活動へ移行する取組を実施。
- ・地域クラブ活動の運営体制として、一つのかたちが作れたことで、少しずつだが部活動の地域移行への意識の浸透が図られた。
- ・連絡体制は新たに構築せず、地域クラブ活動の運営母体がすでに使用している連絡アプリを活用した。
- ・アンケートの実施（令和5年度及び令和6年度に部活動の加入対象となる児童生徒とその保護者、教職員を対象とした実態・意識調査）

●運営体制図



●地域クラブ活動の概要（代表的な取組例）

- (1) 運営類型：総合型地域スポーツクラブ運営型
- (2) 運営主体：NPO法人 小美玉スポーツクラブ
- (3) 種目：女子ソフトテニス
- (4) 指導者の主な属性：スポーツ協会加盟団体の指導者
- (5) 1か月あたりの平均的な活動回数：4回
- (6) 主な活動場所：小川北義務教育学校
- (7) 主な移動手段：徒歩、自転車
- (6) 1人あたりの参加会費等（年額）：0円/年
- (7) 1人あたりの保険料：生徒800円/指導者1,850円

【小美玉市】 令和5年度地域スポーツクラブ活動体制整備事業 （運動部活動の地域移行に向けた実証事業）

本報告書は、スポーツ庁の「令和5年度地域スポーツクラブ活動体制整備事業（運動部活動の地域移行等に向けた実証事業）」の一環として、茨城県が実施した「令和5年度運動部活動の地域移行に向けた実証事業」の成果を取りまとめたものです。

1. 自治体の基本情報

基本情報

人口	48,932人	部活動数	47部活
公立中学校校数	4校	市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	設置済み
公立中学校生徒数	1,214人	市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	未策定

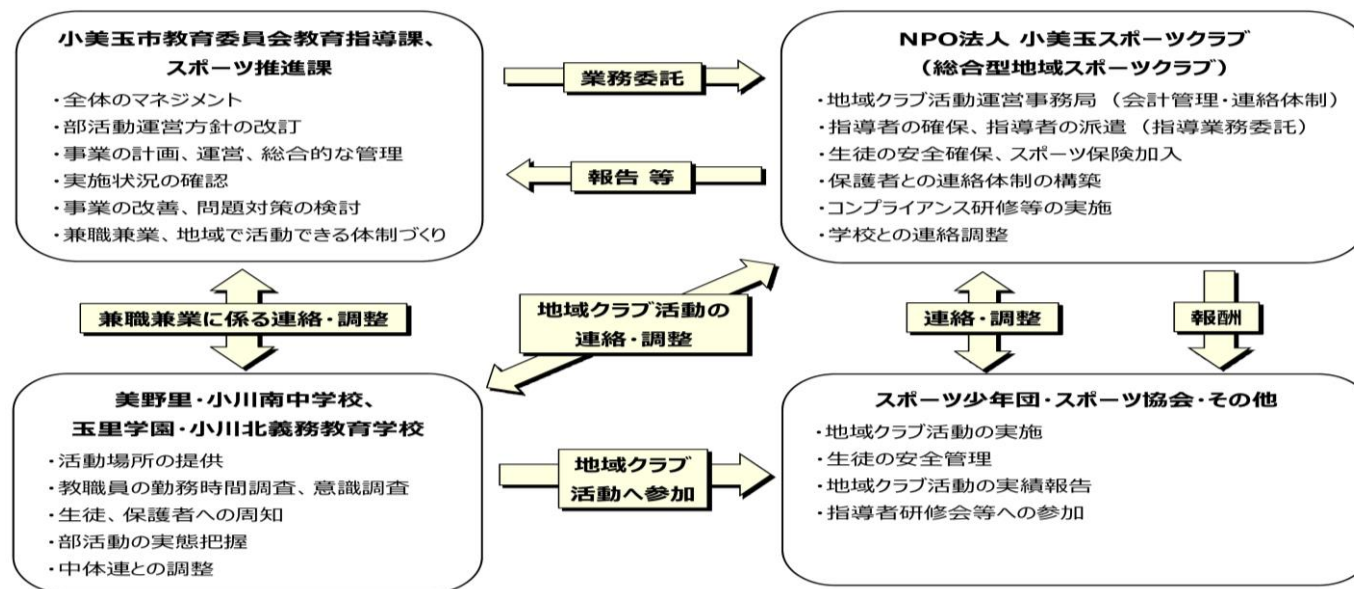
地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

- 現在市内には、中学校が2校、義務教育学校が2校あり、令和5年5月現在、全4校において運動部活動37部、文化部活動10部、合計47部が活動している。
しかし、少子化の影響を受け、部員数が減少傾向にあり、単独の学校のみでは大会に参加できる部員数を確保できていない部活動や、廃部が加速している。
また、指導する教員についても、専門外の指導となる部活動について負担と感じる教員が少なくない状況であり、部活動に要する時間の影響により、長時間勤務となってしまうことが多い状況である。
- 多様な競技種目における地域指導者を確保するためには、人材バンクの活用、地域スポーツ団体等との連携、教員の兼職兼業の制度設計など、地域で活動できる体制づくりの構築が必要となってくる。
- 休日の部活動の段階的な地域移行への取組の中で、地域クラブ活動を運営する上で必要となる講師謝金を始め、保険代や事務局費などの経費に対する受益者負担の保護者の理解が大きな課題となる。
生徒たちがスポーツに継続して親しむことができる環境を整備し、持続可能な体制づくりに取り組む必要がある。

2. 実証内容と成果

運営体制・役割

▼運営体制図（市区町村における推進体制図）



▼行政組織内での役割分担

● 教育委員会（教育指導課）

- 部活動運営方針の改訂
- 兼職兼業の整備
- 地域で活動できる体制づくり
- 各学校との連絡調整等

● 首長部局（スポーツ推進課）

- 全体のマネジメント
- 事業の計画・運営
- 総合的な管理
- 事業の改善、問題対策の検討等

年間の事業スケジュール

- 5月 : 第1回学校部活動・地域クラブ活動検討委員会を開催
- 6月 : 第2回学校部活動・地域クラブ活動検討委員会を開催、市内全4校を対象に地域クラブ活動へ移行する対象部活動についてヒアリングを実施
- 8月 : 第3回学校部活動・地域クラブ活動検討委員会を開催、地域クラブ活動の指導者候補者との打合せ会を実施、校長会において事業概要を説明
- 9月 : 第4回学校部活動・地域クラブ活動検討委員会を開催、学校長及び対象部活動の顧問を対象に地域クラブ活動の事業内容を説明、市内小学6年生、中学1・2年生、対象となる児童生徒の保護者、教職員を対象に部活動の地域移行に関するアンケートを実施
- 10月 : 第5回学校部活動・地域クラブ活動検討委員会を開催、地域クラブ活動へ移行する部活動の生徒保護者を対象に説明会を実施（3校）
- 11月 : 第6回学校部活動・地域クラブ活動検討委員会を開催（各校長を含む）、教職員を対象に兼職兼業に関するアンケートを実施
- 12月 : 地域クラブ活動に参加する生徒を対象に説明を実施、指導者コンプライアンス研修会を実施、3校で休日の地域クラブ活動を開始
- 1月 : 地域クラブ活動へ移行する部活動の生徒保護者を対象に説明会を実施（1校）、地域クラブ活動に参加する生徒を対象に説明を実施、指導者コンプライアンス研修会を実施
- 2月 : 第7回学校部活動・地域クラブ活動検討委員会を開催、1校で休日の地域クラブ活動を開始（全4校において各校1部活動が地域クラブ活動を開始）、休日の地域クラブ活動の実施に伴う指導者報告会を実施
- 3月 : 第8回学校部活動・地域クラブ活動検討委員会を開催

2. 実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の運営実績

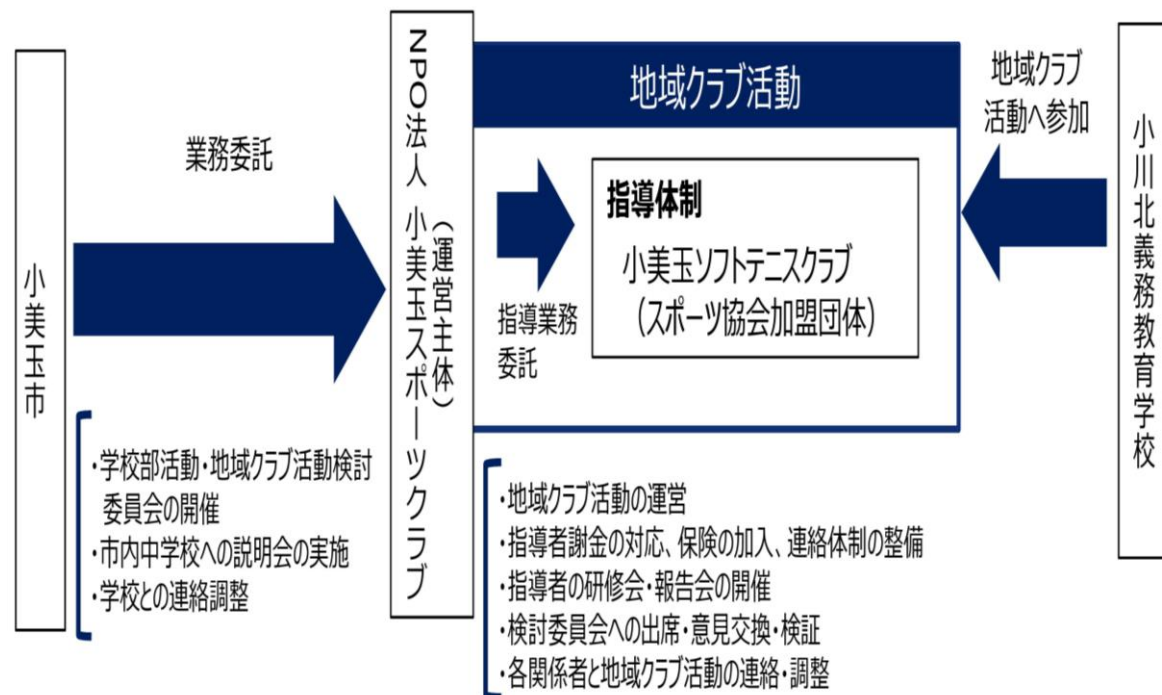
拠点校数	4校	地域クラブ活動に取り組んだ種目	男子卓球、女子ソフトテニス、剣道、陸上競技
地域クラブ活動に取り組んだ部活動数	4部活		

主な取組例

▼活動概要

拠点校名	小川北義務教育学校
地域クラブ活動に移行した部活動数	1部活
地域クラブ活動で実施した種目	女子ソフトテニス
運営主体名	NPO法人 小美玉スポーツクラブ
運営類型	地域スポーツ団体等運営型 (総合型地域スポーツクラブ運営型)
1か月あたりの平均的な活動回数	女子ソフトテニス：月3～4回程度
指導者の主な属性	スポーツ協会加盟団体所属指導者
活動場所	小川北義務教育学校屋外テニスコート
主な移動手段	徒歩、自転車
1人あたりの参加会費等(年額)	女子ソフトテニス：0円
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒1人あたり：800円/年 指導者1人あたり：1,850円/年

▼運営体制図 (地域クラブ活動を実施する際の運営体制図)



2. 実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の運営実績

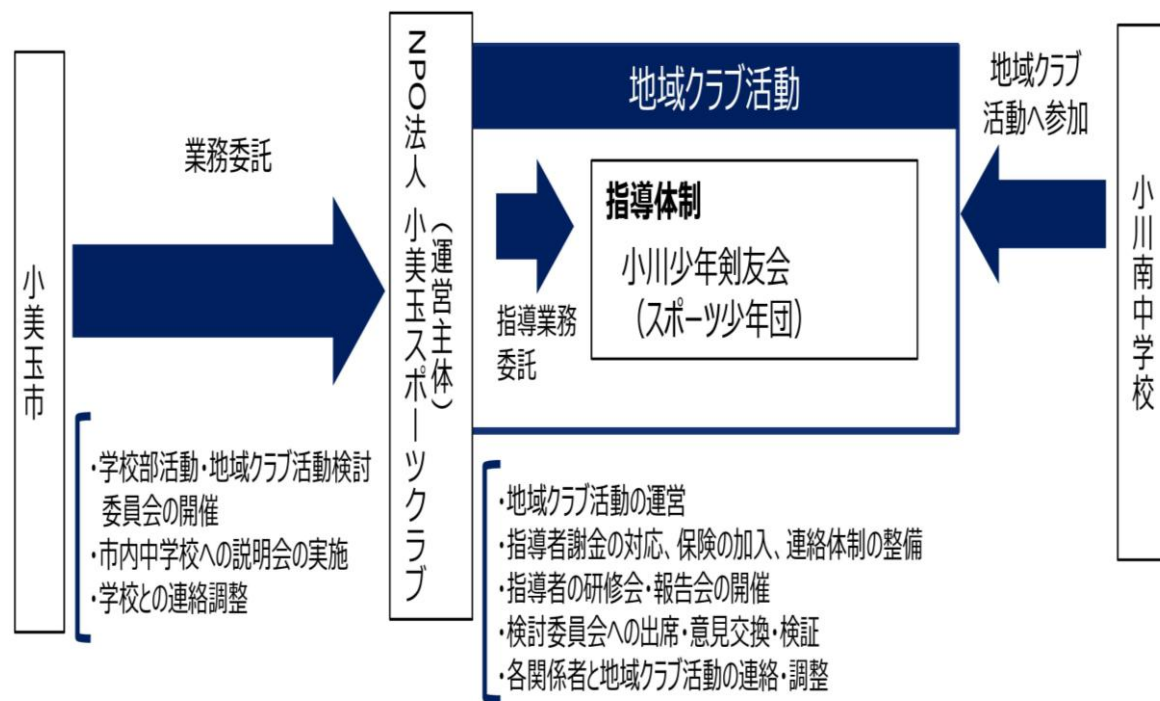
拠点校数	4校	地域クラブ活動に取り組んだ種目	男子卓球、女子ソフトテニス、剣道、陸上競技
地域クラブ活動に取り組んだ部活動数	4部活		

主な取組例

▼活動概要

拠点校名	小川南中学校
地域クラブ活動に移行した部活動数	1部活
地域クラブ活動で実施した種目	剣道
運営主体名	NPO法人 小美玉スポーツクラブ
運営類型	地域スポーツ団体等運営型 (総合型地域スポーツクラブ運営型)
1か月あたりの平均的な活動回数	剣道：月3～4回程度
指導者の主な属性	スポーツ少年団所属指導者
活動場所	旧小川小学校体育館
主な移動手段	徒歩、自転車、保護者送迎
1人あたりの参加会費等(年額)	剣道：0円
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒1人あたり：800円/年 指導者1人あたり：1,850または1,200円/年

▼運営体制図 (地域クラブ活動を実施する際の運営体制図)



2. 実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保証・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取り組み

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

▼取組項目名：ア. 関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組事項

小美玉市教育委員会・スポーツ推進課が中心となり、NPO法人 小美玉スポーツクラブへ事務局機能（会計管理・連絡体制・人材派遣等）を委託し、人材バンクの設置、地域クラブ活動指導希望者への研修会等を実施。その後、市内中学校・義務教育学校で必要となる休日クラブ活動への派遣。

取組の成果

- ・市教育委員会・スポーツ推進課を中心に、NPO法人 小美玉スポーツクラブ・学校・指導者が連携を図り、NPO法人 小美玉スポーツクラブが地域クラブ活動の事務局となり、各校1部活動を対象に休日の運動部活動を地域クラブ活動へ移行する取組を実証することができた。
- ・地域クラブ活動の運営体制として、一つのかたちが作れたことで、少しずつだが部活動の地域移行への意識の浸透が図られた。一方、地域クラブ活動の持続可能な体制づくりの構築には、多様な競技種目における地域指導者の確保、地域スポーツ団体との連携、地域クラブ活動に必要な費用負担（受益者負担）の理解をどう深めるかなどの、多くの課題があることを改めて確認することができた。

特に工夫した事項

- ・連絡体制は新たに構築せず、地域クラブ活動の運営母体となるNPO法人 小美玉スポーツクラブがすでに使用している連絡アプリ「Sgurm」を活用した。
- また、地域クラブ活動に参加した生徒の保護者の中にはスポーツクラブ会員もあり、連絡体制の普及をスムーズに進めることができたと感じている。
- ・休日部活動の地域移行を進める上で、令和5年度及び令和6年度に部活動の加入対象となる児童生徒とその保護者、教職員を対象に実態・意識調査を実施した。

今後の課題と対応方針

- ・地域の実態に合った移行パターンを検証し、地域クラブ活動の持続可能な体制づくりが大きな課題となる。
- ・令和5年度は、事務局機能としてコーディネーターを1名配置して実施したが、今後の地域クラブ活動数の増加を考えると、携わる人材育成や担当職員の増員、指導者人材の確保等、地域クラブ活動運営体制の整備・強化は必要となってくる。

2. 実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保証・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取り組み

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組

取組内容

▼取組項目名：イ：指導者の質の保証・量の確保

取組事項

定期的な指導者研修会の開催、複数人による指導体制。

取組の成果

地域クラブ活動の指導に当たる指導者に対し、コンプライアンス研修会を実施した。

また、実際に地域クラブ活動を行い、どのような印象・課題を持ったのが指導者がお互いに情報共有する場を設けた。



特に工夫した事項

すでに学校部活動で指導に当たっている人材（外部指導者や部活動指導員）を活用することで、学校・生徒・保護者に対して、ある程度の安心感があつたと感じている。

また、スポーツクラブ職員も定期的に地域クラブ活動の視察に行き、活動の実態把握に努めた。

今後の課題と対応方針

- ・指導者の人材確保が大きな課題として挙げられる。現状、担当指導者が1名の地域クラブ活動もあり、不測の事態が生じた場合に指導者が指導に当たれず、活動が実施できないケースが考えられる。
- ・人材バンクの活用を始め、地域のスポーツ団体など様々な人脈を活用しながら、指導者の確保を図る。

2. 実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保証・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取り組み

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

▼取組項目名：ウ：関係団体・分野との連携強化

取組事項

スポーツ少年団、スポーツ協会、その他市民向けに広く地域クラブ活動について周知し、指導を希望する方に対する説明会の開催。

取組の成果

スポーツ協会研修会において、運動部活動の地域移行に向けた市の取組状況の説明とあわせて地域クラブ活動について周知を実施した。

特に工夫した事項

- ・地域クラブ活動の指導者候補となるスポーツ団体の研修会で、運動部活動の地域移行に向けた取組状況や、指導者派遣等の協力依頼について、周知することができた。
- ・教員が地域で活動できる体制づくりを構築するため、兼職兼業の制度設計を進めていく上で参考となるアンケート調査を実施した。

今後の課題と対応方針

- ・競技経験がなく指導に不安を感じる教員もいる中、専門的な指導ができる指導者の確保は大きな課題である。
- ・スポーツ少年団やスポーツ協会等と連携し、人材バンクへの登録や指導者の派遣体制の構築、教員の兼職兼業の制度設計を行うなど、地域で活動できる体制づくりの構築が必要となってくる。

2. 実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保証・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取り組み

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

▼取組項目名：エ：面的・広域的な取り組み

取組事項

市内中学校・義務教育学校から意見を聞き、現在クラブ活動に移行すべき優先順位が高いものから移行していく。

取組の成果

- ・学校部活動・地域クラブ活動検討委員会を定期的を開催し、市教育委員会、スポーツ推進課、NPO法人 小美玉スポーツクラブが休日の運動部活動の地域移行に向けて、協議・検討を行った。
- ・各学校に対しては、令和5年度の実証概要の説明や、令和6年度の実証の進め方について意見交換を行った。

特に工夫した事項

地域クラブ活動の対象部活動については、各学校とのヒアリング・指導者候補となる方たちと意見交換を実施するなど情報収集を行い、すでに休日の運動部活動に外部指導者あるいは部活動指導員が当たっている部活動から優先的に地域移行を実施した。

今後の課題と対応方針

令和6年度は、単独の学校のみでは大会に参加できる部員数が確保できず、合同チームにより大会に参加している種目を拠点校へ変更し、中学3年生の引退時期を踏まえ、9月から地域クラブ活動への取組を計画しているが、最終的には他の種目含め、どのようなかたちで完全地域移行を達成するのが課題となる。

2. 実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保証・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取り組み

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

▼取組項目名：オ：内容の充実

取組事項

競技ごとのスポーツ教室や、体のケアや応急処置等の講習会を実施。

取組の 成果

学校や指導者との調整や地域クラブの活動指針のすり合わせなどで、開始時期が当初計画していた時期より3か月から5か月遅れたため、コンプライアンス研修会のみを実施し、応急処置等の講習会は未実施となった。

特に 工夫した 事項

今後の 課題と 対応方針

体のケアや応急処置等については、地域クラブ活動の運営母体となるNPO法人 小美玉スポーツクラブの職員に現場経験豊富な専門家が2名いるため、今後はそれらの職員と連携し、応急処置等の習得を図る講習会を実施していきたい。

2. 実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保証・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取り組み

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

▼取組項目名：カ：参加費用負担の支援等

取組事項

基本は受益者負担となっていくものであり、地域クラブ活動に参加することが強制ではないことから、費用負担の支援はないものと考えている。

取組の成果

移行期間中は、地域に移行しない部活動と移行する部活動で不公平感が生じないように国費や市の自主財源を活用することで、保険料も含め受益者負担は発生しない運営体制で実施した。

成果としては、現在部活動に所属しているほとんどの部員が地域クラブに加入した。

◆部活動加入生徒数：73人、地域クラブ活動加入生徒数：64人、地域クラブ活動加入率：87.7%

特に工夫した事項

地域クラブ活動へ移行する部活動の保護者対象の説明会を行った際に、令和5年度の地域クラブ活動は、国費や市の自主財源を活用することで、受益者負担が発生しない理由を説明した。あわせて講師謝金や保険料などの費用負担（受益者負担）は、本来発生するものであることを周知した。

今後の課題と対応方針

持続可能な地域クラブ活動の運営体制を構築する上で、いつまで受益者負担なしで地域クラブ活動を展開していくのか、今後どのように受益者負担を発生させていくのか、受益者負担に対する保護者の理解は必要であり、大きな課題となる。移行期間中であっても、一部受益者負担で地域クラブ活動の運営を進めていくことなど検討が必要となってくる。

2. 実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保証・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取り組み

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

▼取組項目名：キ：学校施設の活用等

取組事項

「学校体育施設開放事業」により、休日は地域の方に学校体育施設を開放しているが、地域クラブ活動になった場合、活動場所に困らないよう原則学校体育施設を利用できるように調整する。

取組の成果

- ・小川北義務教育学校（女子ソフトテニス）及び美野里中学校（陸上競技）の取組においては、活動場所を変えず地域クラブ活動を実施することができた。
- ・小川南中学校（剣道）の取組においても、地域クラブ活動前と同様に、廃校の旧小川小学校体育館を活用し実施することができた。
- ・玉里学園義務教育学校（男子卓球）の取組においては、部活動の活動場所が校舎内にある体育室のため、休日の地域クラブ活動は小美玉市玉里海洋センターのトレーニングルームを活用し実施することができた。

特に工夫した事項

- ・活動する場所や時間を大きく変えずに実施することで、参加者の負担を可能な限り軽減することができた。
- ・活動場所が生徒・指導者ともに馴染みがあることにより、地域移行という事柄に対し特別な意識をもつことなくスムーズに地域クラブ活動を実施することができた。
- ・活動場所を変更した地域クラブは、学区内にある社会体育施設を活用することで参加者の負担を軽減することができた。また、指導者より練習環境が変わり、社会体育施設を活用することで練習メニューにも少し幅ができたとの意見もあった。

今後の課題と対応方針

- ・学校体育施設の老朽化に伴う改修工事、廃校施設の取り壊しが予定されているため、活動場所をどのように確保していくかが課題となる。
- ・拠点となる学校での複数の学校の生徒による活動、または地域の社会体育施設を活用するなど検討が必要となってくる。

2. 実証内容と成果

参考資料（アンケート結果、広報物、協議会等で使用した資料の抜粋等）

令和5年度小美玉市部活動の地域移行に関するアンケート結果

I 調査の概要

◆第1回 アンケート調査

- 調査の目的 中学校、義務教育学校後期課程の休日部活動の地域移行についての実態・意識調査を行い、今後の学校部活動の地域移行を進めていく上での参考資料とする。
- 調査期間 令和5年9月20日（水）～10月6日（金）
- 調査対象校 小学校（5校）、中学校（2校）、義務教育学校（2校）
- 調査方法 Webアンケート
- 調査対象及び有効回答

対 象	対象数	回答数	回答率
生徒 ・令和5年度中学1・2年、義務教育学校7・8年生徒	810	260	32.1%
児童 ・令和5年度小学6年、義務教育学校6年児童	387	199	51.4%
保護者 ・上記対象児童生徒の保護者	1,197	593	49.5%
教職員 ・調査対象校（9校）	253	144	56.9%

◆第2回 アンケート調査

- 調査の目的 兼職兼業制度を活用し、小美玉市で指導希望の有無、指導可能な曜日や時間帯等についての調査を行い、兼職兼業の制度設計を進めていく上での参考資料とする。
- 調査期間 令和5年11月22日（水）～12月8日（金）
- 調査対象校 小学校（5校）、中学校（2校）、義務教育学校（2校）
- 調査方法 Webアンケート
- 調査対象及び有効回答

対 象	対象数	回答数	回答率
教職員 ・調査対象校（9校）	253	170	67.2%

2. 実証内容と成果

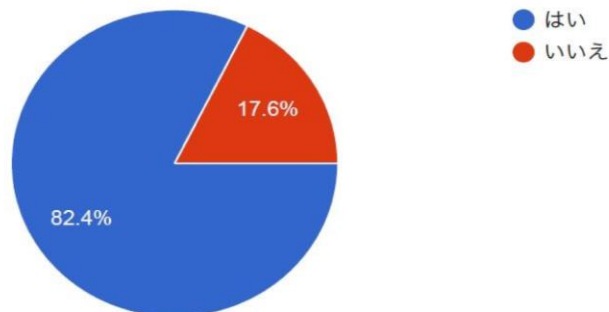
参考資料（アンケート結果、広報物、協議会等で使用した資料の抜粋等）

II 調査概要

【令和5年度_中学1・2年と義務教育7・8年、小学6年と義務教育6年対象_中学部活動に関するアンケート結果_生徒・児童】

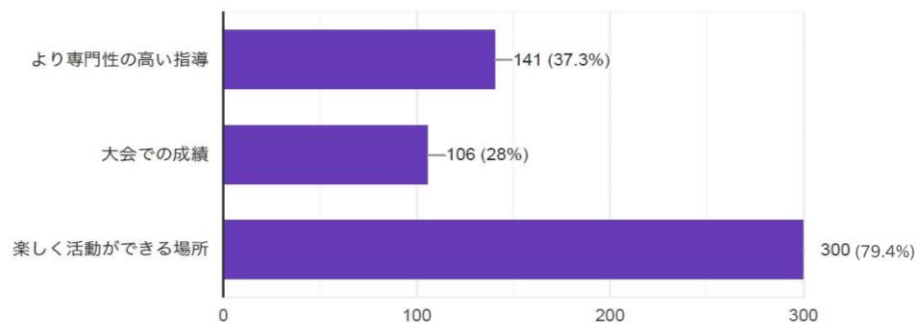
- ①現在部活動に入部している、もしくは中学校、義務教育学校後期課程で部活動への入部を考えていますか？

459件の回答



- ③部活動が地域（民間）へと移行した場合、移行した先の活動や指導者には何を求めますか？※複数回答可

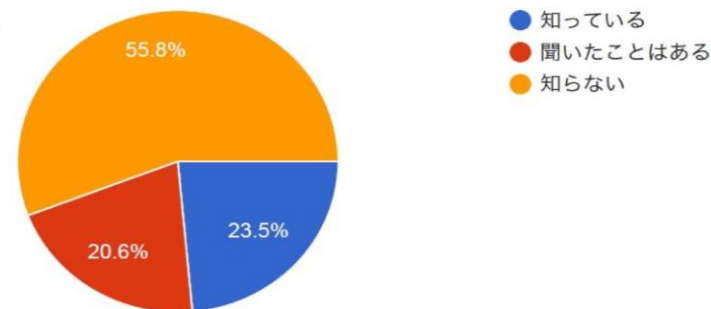
378件の回答



- 「現在部活動に入部している、もしくは中学校、義務教育学校後期課程で部活動への入部を考えていますか？」で『はい』と答えた方

- ②現在スポーツ庁ならびに文化庁が主導となって部活動を地域（民間）へ移行する動きが広まっているのを知っていますか？

378件の回答



- 「現在部活動に入部している、もしくは中学校、義務教育学校後期課程で部活動への入部を考えていますか？」で『いいえ』と答えた方

- ④部活動に入らない理由をお聞かせください。※複数回答可

81件の回答



2. 実証内容と成果

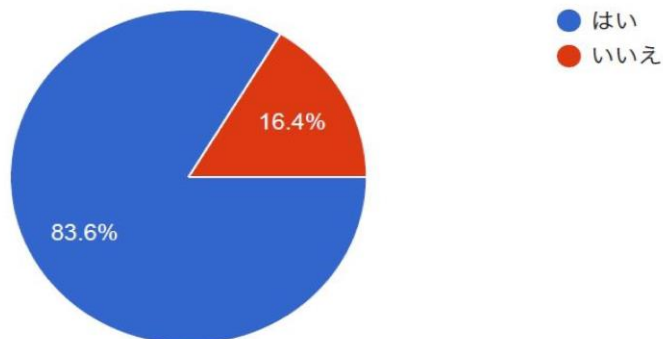
参考資料（アンケート結果、広報物、協議会等で使用した資料の抜粋等）

II 調査概要

【令和5年度_中学1・2年と義務教育7・8年、小学6年と義務教育6年対象_中学部活動に関するアンケート結果_保護者】

①現在お子さんは部活動に入部していますか？あるいは中学校、義務教育課程で部活動への入部を考えていますか？

593件の回答

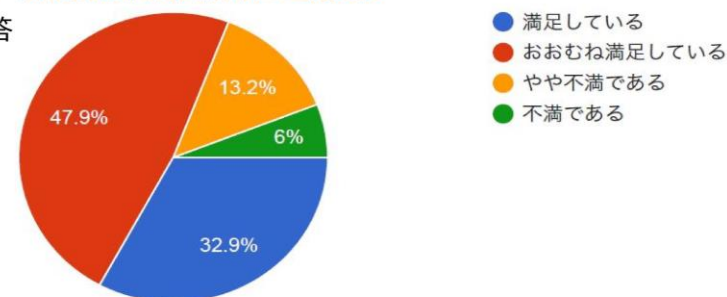


「現在お子さんは部活動に入部していますか？あるいは中学校、義務教育学校後期課程で部活動への入部を考えていますか？」で『はい』と答え
た方

②現在の部活動の活動頻度や活動内容に満足していますか？

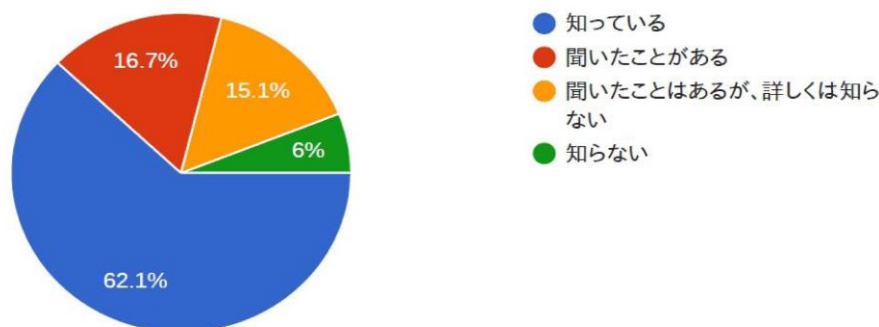
※現中学生、義務教育学校後期課程生徒対象

386件の回答



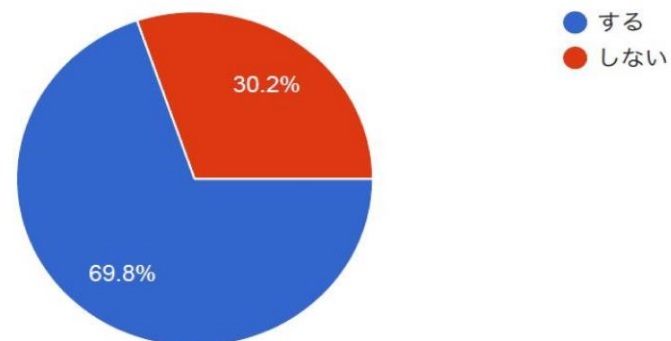
③現在スポーツ庁ならびに文化庁が主導となって部活動を地域（民間）へ移行する動きが進められているのを知っていますか？

496件の回答



④休日（土・日）の部活動が地域（民間）へと移行した場合、移行先の活動に加入しますか？

496件の回答



2. 実証内容と成果

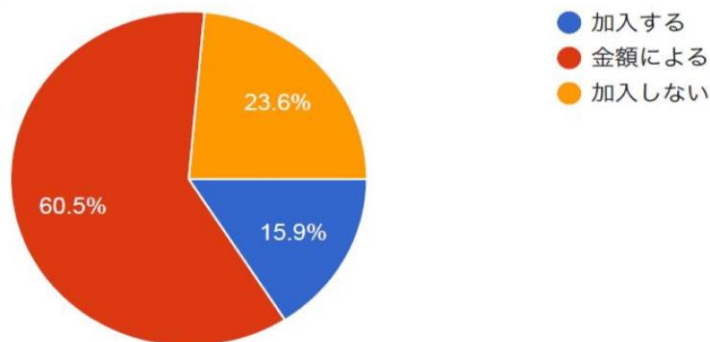
参考資料（アンケート結果、広報物、協議会等で使用した資料の抜粋等）

II 調査概要

【令和5年度_中学1・2年と義務教育7・8年、小学6年と義務教育6年対象_中学部活動に関するアンケート結果_保護者】

⑤休日（土・日）の部活動が地域（民間）へと移行し、月額の活動費が発生した場合、加入しますか？

496件の回答

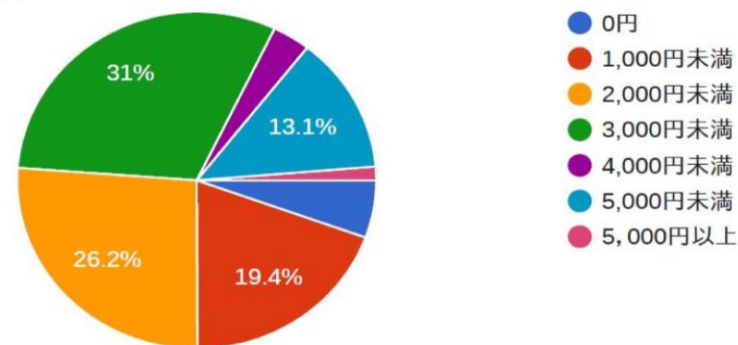


※前の質問で「加入する・金額による」を選択した方のみお答えください。

⑥地域クラブ活動への月会費はどの程度が適正であると感じますか？

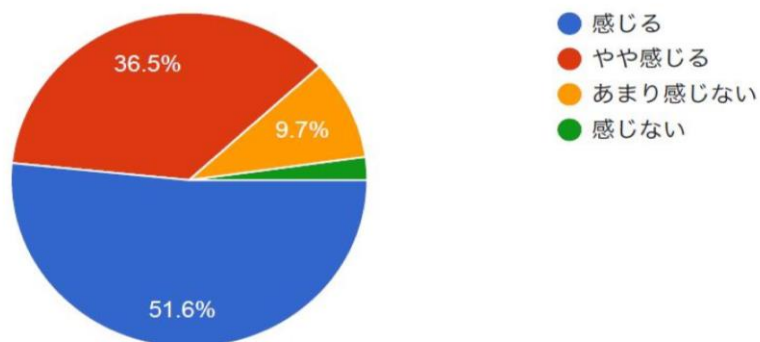
※活動頻度：休日（土・日）の月4回・1回3時間

381件の回答



⑦休日（土・日）の地域クラブ活動参加にあたり、送迎が必要になった場合、負担に感じますか？

496件の回答



⑧休日（土・日）の部活動が地域（民間）へと移行した場合、移行した活動には何を求めますか？※複数回答可

496件の回答



2. 実証内容と成果

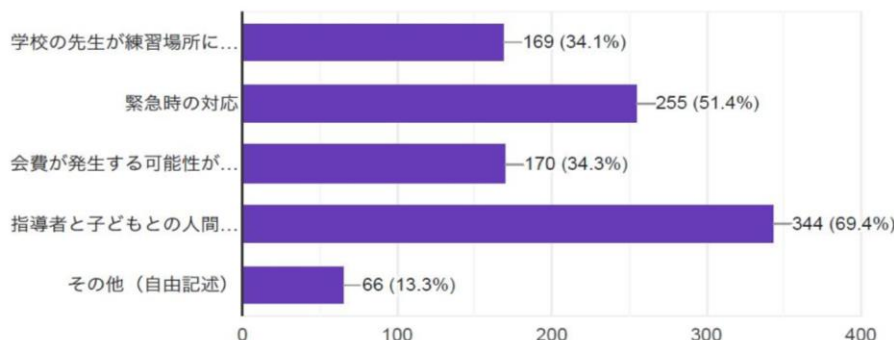
参考資料（アンケート結果、広報物、協議会等で使用した資料の抜粋等）

II 調査概要

【令和5年度_中学1・2年と義務教育7・8年、小学6年と義務教育6年対象_中学部活動に関するアンケート結果_保護者】

⑨休日（土・日）の部活動が地域（民間）に移行するにあたり、不安を感じる部分はどこですか？※複数回答可

496件の回答

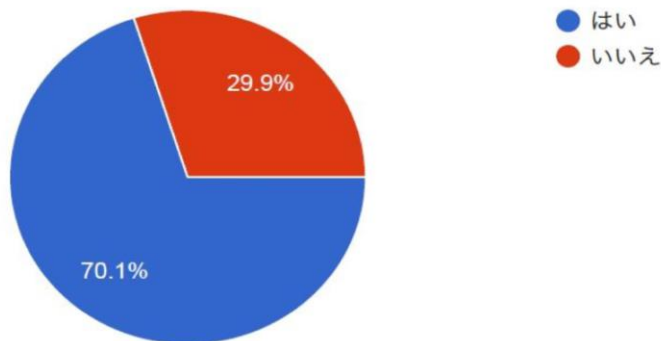


※その他（自由記述）主な回答

- ・送迎の負担、指導者の質や人間性、指導内容や指導方針、学校顧問との連携、部活動の地域移行反対

⑩仮にお子さんがやりたい種目や活動の部活動があったら入部を検討していましたか？

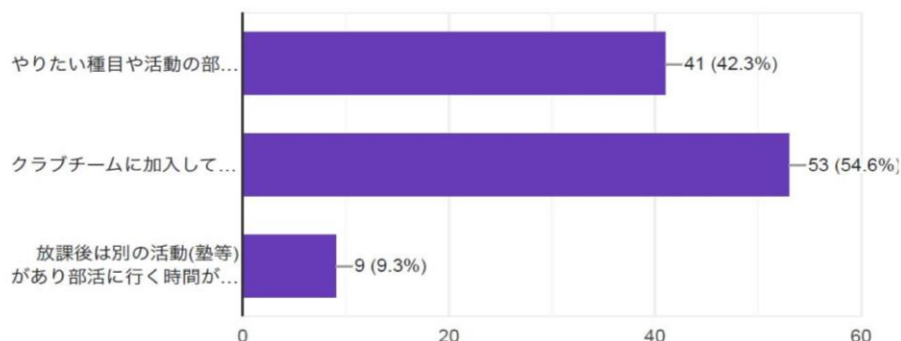
97件の回答



「現在お子さんは部活動に入部していますか？あるいは中学校、義務教育学校後期課程で部活動への入部を考えていますか？」で『いいえ』と答えた方

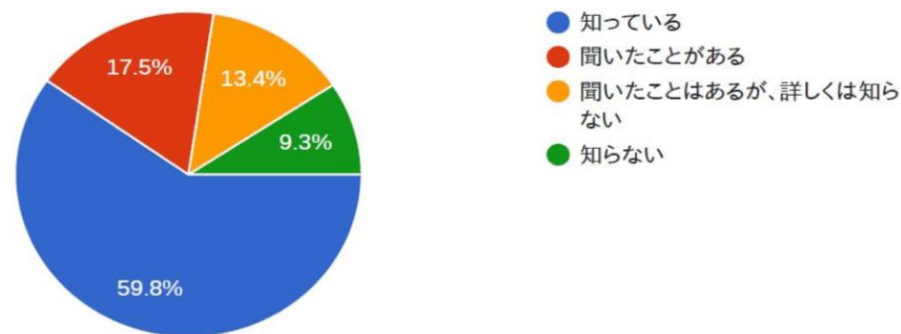
⑪部活動に入らない理由をお聞かせください。※複数回答可

97件の回答



⑫現在スポーツ庁ならびに文化庁が主導となって部活動を地域（民間）へ移行する動きが進められているのを知っていますか？

97件の回答



2. 実証内容と成果

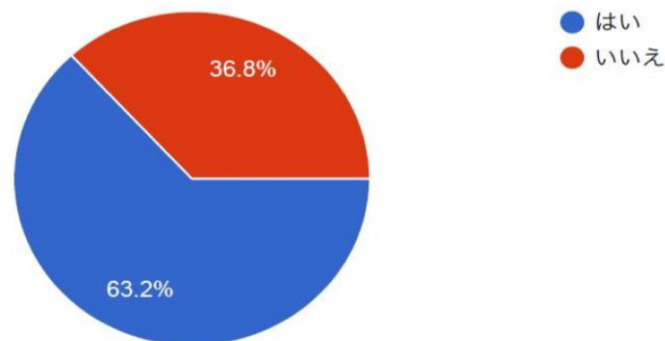
参考資料（アンケート結果、広報物、協議会等で使用した資料の抜粋等）

II 調査概要

【兼職兼業に関するアンケート結果_教職員】

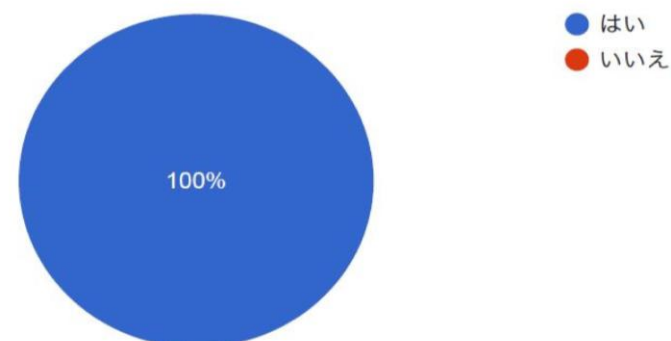
①現在部活動を担当していますか？

144件の回答



②現在スポーツ庁ならびに文化庁が中心となり、部活動を地域（民間）へ移行する動きが進められているのを知っていますか？

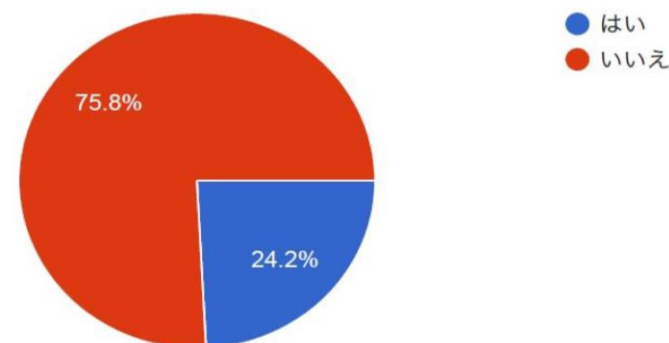
144件の回答



「現在部活動を担当していますか？」で『はい』と答えた方

③部活動が地域（民間）へ移った場合、兼職兼業制度を使って引き続き指導を行いたいですか？

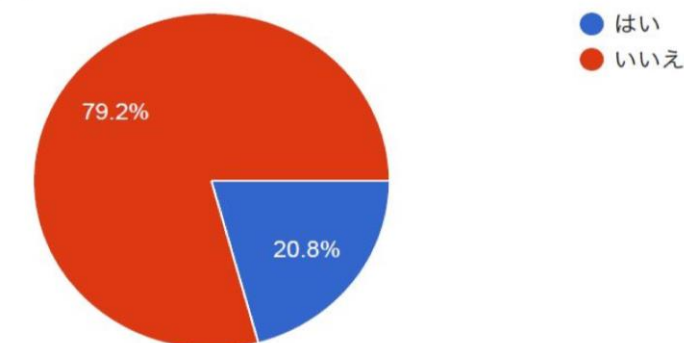
91件の回答



「現在部活動を担当していますか？」で『いいえ』と答えた方

④部活動が地域（民間）へ移った場合、兼職兼業制度を利用して指導を行いたいですか？

53件の回答



※兼職兼業制度・・・上司である校長等への相談・了承の上、服務監督教育委員会の兼職兼業の許可を得て、学校以外の主体である地域団体の業務に報酬を受けて従事（部活動指導）することが可能になる制度のこと

2. 実証内容と成果

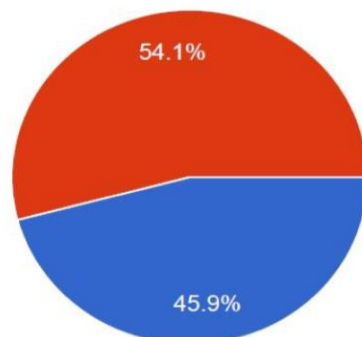
参考資料（アンケート結果、広報物、協議会等で使用した資料の抜粋等）

II 調査概要

【兼職兼業に関するアンケート結果（第2回）__教職員】

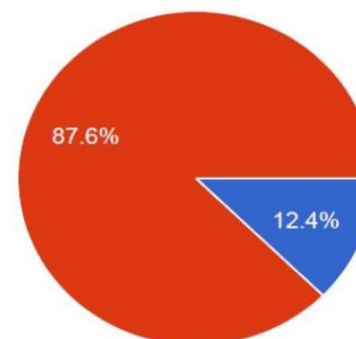
①現在部活動を担当していますか？

170件の回答



②部活動が地域（民間）へ移った場合、兼職兼業制度を使って小美玉市で指導を行いたいですか？

170件の回答



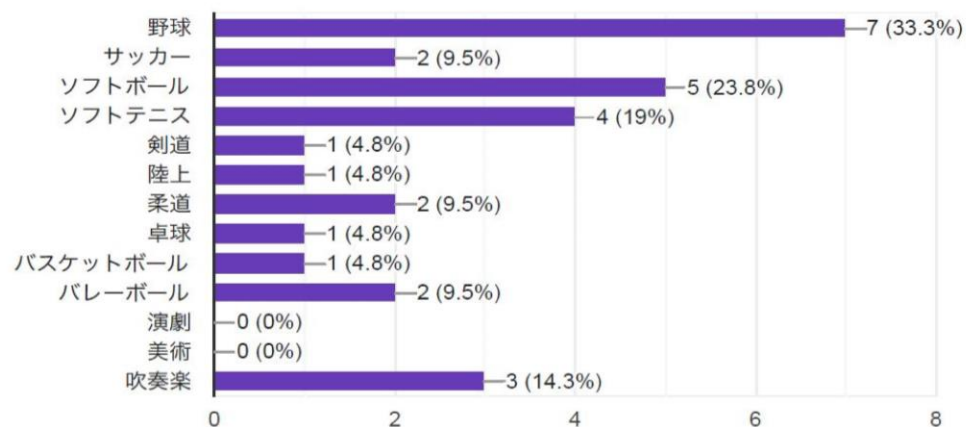
※兼職兼業制度・・・上司である校長等への相談・了承の上、服務監督教育委員会の兼職兼業の許可を得て、学校以外の主体である地域団体の業務に報酬を受けて従事（部活動指導）することが可能になる制度のこと

「部活動が地域（民間）へ移った場合、兼職兼業制度を使って小美玉市で指導を行いたいですか？」で『はい』と答えた方

③兼職兼業制度を使って指導を行いたい種目はなんですか？現在担当している種目以外の選択も可能です。『その他』を選択した方は、指導を行いたい

種目を記入してください※複数選択可

21件の回答



2. 実証内容と成果

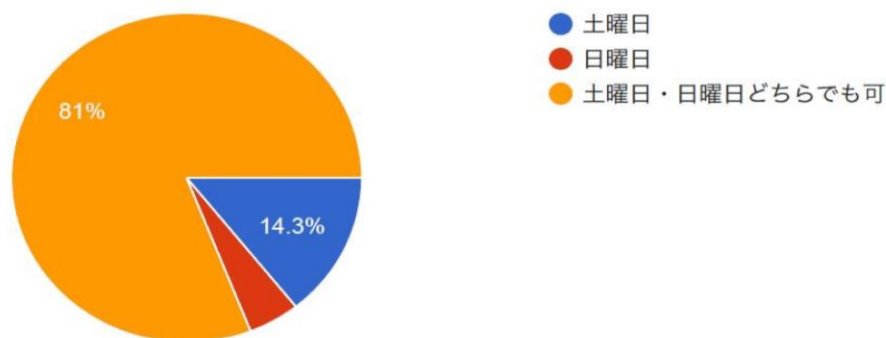
参考資料（アンケート結果、広報物、協議会等で使用した資料の抜粋等）

II 調査概要

【兼職兼業に関するアンケート結果（第2回）__教職員】

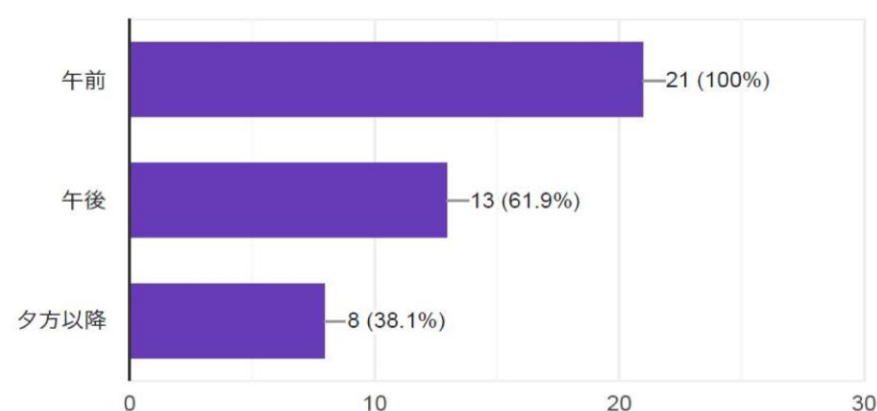
④現時点で指導可能な曜日を教えてください

21件の回答



⑤現時点で指導可能な時間帯を教えてください※複数回答可

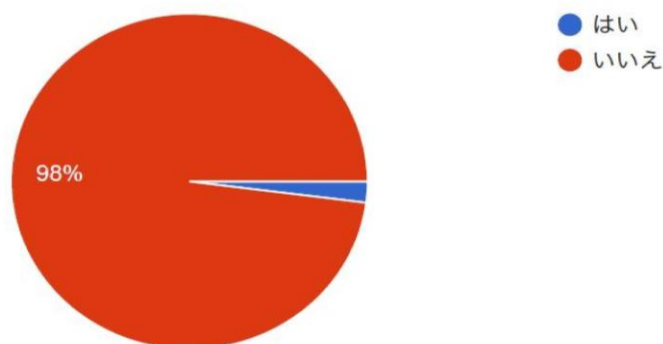
21件の回答



「部活動が地域（民間）へ移った場合、兼職兼業制度を使って小美玉市で指導を行いたいですか？」で『いいえ』と答えた方

⑥小美玉市以外で兼職兼業制度を使って指導を行いたいですか？

149件の回答



2. 実証内容と成果

参考資料（活動写真）



【地域クラブ活動：玉里学園義務教育学校 男子卓球】



【地域クラブ活動：小川北義務教育学校 女子ソフトテニス】



【地域クラブ活動：小川南中学校 剣道】



【地域クラブ活動：美野里中学校 陸上競技】

2. 実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス



- ステークホルダー
小美玉市、各学校、NPO法人 小美玉スポーツクラブ
- 経過
・地域移行の事務局機能を果たす団体としてNPO法人 小美玉スポーツクラブと連携していく方針を示した。
- 実施にあたって生じた課題
・具体的に、どのように地域移行を進めていくのかの見通しが立たず、方向性が定まらなかった。
- 実施内容、工夫した点 等
・行政、各校教職員、NPO法人 小美玉スポーツクラブで部活動検討委員会を開催。

- ステークホルダー
小美玉市、各学校、NPO法人 小美玉スポーツクラブ、生徒・保護者、スポーツ協会・スポーツ少年団等の地域指導者
- 経過
・地域クラブ活動の事務局機能をNPO法人 小美玉スポーツクラブに業務委託。
・各学校とヒアリングを実施し、地域クラブ活動の対象部活動を選定。
・各校1部活動を対象に休日の運動部活動を地域クラブ活動へ移行する取組を実施。
- 実施にあたって生じた課題
・指導者の確保
・活動場所の確保
・休日の地域移行に関する周知と理解
- 実施内容、工夫した点 等
・市内中学校2校と義務教育学校2校で休日の地域移行を実施。すでに外部指導者や部活動指導員が指導を担当している部活動を選定し、休日の運動部活動を地域クラブ活動へ移行する取組を実施した。
・受益者負担について、移行期間中は地域に移行しない部活動と移行する部活動で不公平感が生じないよう国費や市の自主財源を活用することで、保険料も含め受益者負担は発生しない運営体制で実施した。一方、今後どのように受益者負担を発生させていくのか、受益者負担に対する保護者の理解は必要である。

3. 今後の方向性

地域連携・地域移行の推進に向けた今後のロードマップ

小美玉市・小美玉市教育委員会 部活動改革スケジュール（案）

	2023年度（R5）	2024年度（R6）	2025年度（R7）	R8
小美玉市教育委員会 教育指導課	平日の運動部活動は現状どおり継続し、令和7年度までの休日部活動を見直す			休日の運動部活動を完全に地域移行
	<p>休日部活動の地域移行 準備期間</p> <p>土日の部活動は段階的に削減する</p> <ul style="list-style-type: none"> ○部活動運営方針の改訂 ○教員の兼職兼業の制度設計、地域で活動できる体制づくり ○教員・保護者への周知 ○中体連大会に参加する地域クラブ活動の参加資格の調整等 			
小美玉市 スポーツ推進課	休日部活動の完全地域移行を目指した地域クラブ活動の運営体制づくりを支援			
	卓球、ソフトテニス、剣道、陸上競技			
	バレーボール			
	地域移行クラブの拡大（50%）			
休日部活動の地域クラブ化を促進				
NPO法人 小美玉スポーツクラブ	モデル事業			
	新たなモデル事業		地域移行クラブの拡大（50%）	
	既存事業の安定化を図る（指導者の確保、運営体制の整備等）			
	<ul style="list-style-type: none"> ・単独事業化した際の費用負担（受益者負担）の試算・検証 ・事業拡大の検討・試算 			